

若年性 認知症者と家族の 理解と支援

若年性認知症には、家庭内の経済的な問題や家族関係の再構築、多重介護、相談・支援体制の未整備など、高齢者の認知症とは異なる課題がある。改正社会福祉法では包括的支援体制の構築を市町村の努力義務としているが、これらの課題を抱える若年性認知症者とその家族に対する支援が十分に進んでいるとは言えない。本特集では、疫学調査や先進的な取り組みからその現状を紹介し、支援や共生の糸口を探る。

-
- 若年性認知症の人および家族の現状と支援の課題
 - 若年性認知症支援コーディネーターによる相談支援の実際
アセスメント、就労支援、家族支援をワンストップで
 - 若年性認知症者の居場所づくりと地域づくり
若年認知症サポートセンターきずなやの活動
 - 若年性認知症に関する世田谷区の取り組み
認知症当事者のニーズに応える「認知症当事者のための社会参加型プログラム開発事業」
 - 横浜市における若年性認知症支援の現状と課題
保健師に必要な視点とは